

平成 24 年度 第 2 回 海岸工学委員会 議事録

開催日時： 平成 24 年 11 月 14 日（水）18:00-20:00

開催場所： 広島国際会議場（地下 2 階ラン①）

出席者： 岩田相談役，柴山相談役，間瀬委員長，後藤幹事長，青木，荒木，池谷，伊藤，今村，長谷部（大山委員の代理），岡安，木村，黒岩，小野（黒木委員の代理），上月，佐々木，猿渡，津田，西田，松本，三嶋，水谷，森，八木，山本，横木の各委員
小笠原，柿沼，北野，栗山，佐藤，重松，加藤（諏訪委員兼幹事の代理），高木，武若，丹治，藤間，松山，陸田，森屋，山城，渡部の各委員兼幹事

資料：Power Point スライド（資料 1）

委員の退任（委員長指名）について（後藤幹事長）

岩田相談役が今年度をもって退任されることが報告され，岩田先生からご挨拶があった。

論文集編集小委員長等の交代について（後藤幹事長）

編集小委員長の交代が報告され，新小委員長は岡安委員（東京海洋大学）となることが了承された。副小委員長は北野委員が継続する。また，次期(H26,27 期)の副小委員長は，田島先生（東京大学）となることが了承された。

前回議事録の確認

前回の平成 24 年度第 1 回海岸工学委員会（平成 24 年 6 月 18 日）の議事録案が了承された。

報告事項

(1) 「数値波動水槽」の出版について（後藤幹事長）

数値波動小委員会編集の『数値波動水槽』が出版されたことが報告された。

(2) 土木学会創立 100 年周年事業について（間瀬委員長）

本委員会提案の「津波・高潮の水位標識の設置および沿岸防災意識の普及促進」が進められることになり，WG を設置することが報告された。

(3) 水理公式集改訂検討小委員会について（後藤幹事長）

水理公式集改訂に向けて検討小委員会が立ち上げられることになり，海岸工学委員会からは委員長，幹事長がメンバーとなることが報告された。改訂に向けた今後のスケジュールは，パブリックコメント募集 2012 年 11 月～2013 年 1 月，改訂作業 2013 年 4 月～10 月，2014 年末に出版の予定。

海岸工学論文集第 59 巻発刊準備状況について

・海岸工学論文集第 59 巻最終審査報告と発刊準備状況（青木編集小委員長）

第 2 段階査読を通過した論文は 299 編，国際セッションは 17 編であったこと，近日中に JSTAGE で公開予定であることが報告された。また，論文査読の諸課題として，i) アブストラクト査読の 2 点の評点の論文についてもコメントを入力すること，ii) 第 2 段階査読の査読スケジュールの見直し，iii) 査読の主査，副査への役割の周知などが挙げられ，今後，編集小委員会で具体的に検討されることが報告された。

・著者負担金について（後藤幹事長）

著者負担金を 35,000 円，論文集を 5,000 円とすること，通常号掲載分で海岸工学講演会での発表を希望する場合には講演申込料 20,000 円を徴収することが報告された。なお，海岸工学講演会での登壇は，通常号掲載分と特集号掲載分を併せて 1 回とし，来年度からは論文募集要項に明記することになった。

なお，今年度は，JSTAGE での論文電子ファイルの公開が講演会に間に合わなかったこともあり，JSTAGE 以外の形で講演会前から電子データを見ることができるようにしてほしいとの意見があった。JSTAGE との関係もあるので可能性を確認することになった。

海岸工学論文賞候補論文および海岸工学論文奨励賞について（後藤幹事長）

・海岸工学論文賞候補論文

審査の結果，次の 3 編に授与される事が決定された。

- 1) 時間発展を考慮した津波波源逆解析と観測点地盤変動量のリアルタイム推定
高川智博, 富田孝史
- 2) マルチモデルアンサンブルによる気候変動に伴う熱帯低気圧特性の将来変化予測
森信人, 村上裕之, 志村智也, 中條壮大, 安田誠宏, 間瀬肇
- 3) 津波の越流による海岸堤防の破壊メカニズムに関する研究
中尾秀之, 佐藤慎司, Harry YEH

・海岸工学論文奨励賞

海岸工学論文奨励賞が今年度から導入された。候補者は 32 歳以下の筆頭著者で過去に同賞の受賞経験がない者とし，受賞者は最大 3 名とした。審査の結果，次の 3 名に授与される事が決定された。

- 1) 底質表層の間隙水圧を考慮した漂砂モデルの提案と津波による局所洗掘現象への適用に関する研究
中村友昭（共著：水谷法美）
- 2) 映像解析による 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の流速測定
林 里美（共著：越村俊一）
- 3) 沖合津波観測点配置の違いが逆解析に基づく近地津波予測の精度に与える影響

対馬弘晃（共著：平田賢治,林豊,前田憲二,尾崎友亮）

なお，論文奨励賞については，第 1 著者のみが生年月日調査の対象であることを明記するなど投稿システムを改善する必要性が報告された。

第 59 回海岸工学講演会の実施状況について（陸田委員）

14 日終了時点の記帳者数が報告された（最終確定数 693 名）。

第 60 回海岸工学講演会の準備状況について（山城委員）

第 60 回海岸工学講演会の準備状況（会場予約状況，見学会案，予算等）について報告された。

日程：平成 25 年 11 月 13 日（水）－15 日（金）

会場：九州大学医学部百年講堂＋小講堂・同窓会館（予約済）。

懇親会：ホテルセントラーザ博多（予約済）

見学会：前日 11/12 に博多港見学ツアーを実施予定。

第 61 回海岸工学講演会の準備状況について（水谷委員）

第 61 回海岸工学講演会の準備状況（会場，日程，予算等）について報告された。

日程：平成 25 年 11 月 12 日（水）－14 日（金）

会場：ウインクあいち（予約済）

Coastal Engineering Journal について（水谷小委員長）

Tohoku Earthquake Tsunami Special Issue が出版されたこと，現時点の出版準備状況及び投稿状況などが報告された。

広報小委員会 活動報告（森小委員長）

今年度から討議集はオンラインのみ受け付けること，沿岸災害データベースなどの活動報告がなされた。

沿岸域研究連携推進小委員会 活動報告（重松小委員長）

2012 年 12 月 14 日に開催される流域圏シンポジウム「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」に主催の一員として参加する事が報告された。

地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会 活動報告（今村副委員長）

Techno Ocean(11/18～20、神戸国際会議場)におけるオーガナイズドセッションへの協力など 2012 年の活動報告がなされた。

数値波動小委員会活動報告（岡安小委員長）

「数値波動水槽 一砕波帯波浪計算の深化と耐波設計の革新を目指して」が出版されたこと、第2期の活動については渡部副小委員長を中心に取りまとめが進められていることが報告された。

地球温暖化適応策検討小委員会活動報告（横木小委員長）

2012年度の活動報告がなされた。

なお、後藤幹事長から、来年度以降、各小委員から海岸工学講演会でのシンポジウムの企画を考えてほしい旨要請があった。

第48回、第49回水工学に関する夏季研修会（Bコース）について（渡部委員，北野委員）

第48回研修会での参加者数，アンケート結果，改善要望等について報告された。参加者数が前年より増加し，内容についても概ね好評であったが，空調等の面で改善要望があった。第49回研修会は，平成25年8月26日～27日に名古屋工業大学にて開催予定で，テーマは『伊勢湾台風級高潮と巨大地震津波を考える（案）』である。

（議事録：八木）